

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11
ヒロキビル ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

- ★ 第 41 回通常総会報告
 - ・ 第 41 回通常総会議事録
 - ・ 総会資料
- ★ 第 41 回通常総会後の懇親会報告
- ★ 平成 30 年度 新任者教育セミナー報告
- ★ 新役員の挨拶
- ★ 役員の役割分担
- ★ 関係機関・団体の動き
 - ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
 - ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
 - ・ 千葉県環境計量協会
 - ・ (一社)日本環境測定分析協会
- ★ 東環協からのお知らせ
 - ・ 平成 30 年度第 1 回親睦ゴルフ大会報告
 - ・ 平成 30 年度これからの主要行事予定
 - ・ 事務局からのお知らせ

第 41 回通常総会報告

平成 30 年 5 月 8 日(火)、第 41 回通常総会がアルカディア市ヶ谷 4 階「鳳凰」で開催されました。正会員 24 社のご出席をいただき、26 社の委任状と合わせ定数を充足していることから、定刻の 16 時 30 分、竹田副会長が総会の成立を宣言しました。会則第 22 条に従い、議長には佐藤会長が選出され、五十嵐副会長により昨年度の事業報告並びに収支決算報告、今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。今年は役員改選期ですので第 5 号議案で次期役員承認が行われました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、17 時 20 分に無事終了いたしました。詳細は議事録及び総会資料をご覧ください。

佐藤会長の挨拶



<佐藤会長挨拶>

只今、ご紹介に預かりました会長の佐藤です。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日はご多用の中、本総会に多数ご出席いただき誠に有難うございます。ご来賓といたしまして一般社団法人日本環境測定分析協会から松村徹会長、津上昌平関東支部長に、それぞれご列席いただき誠に有難うございます。

(中略 ※挨拶の詳細は総会資料をご覧ください。)

これより第 41 回の通常総会におきまして、平成 29 年度の事業報告と収支決算報告、及び平成 30 年度の事業計画案と収支予算案、並びに今年度は役員改選期にあたりますので役員改選についてご審議をいただきますが、皆様の活発なご意見、ご討議をお願いしたいと思います。

簡単ですが、会長のご挨拶とさせていただきます。



<通常総会風景>



<説明を行う五十嵐副会長>

東京都環境計量協議会
平成30年度（第41回）通常総会
議 事 録

日 時 : 平成30年5月8日（火） 16:30～17:20
場 所 : アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰の間」（東京都千代田区九段北4-2-25）

出席者 : 50社（うち委任状 26社）

竹田副会長が16時30分、正会員総数65社中50社の出席があり、会則第19条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に佐藤会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、(株)日新環境調査センターの小島邦夫氏と(株)日本シーシーエルの濱砂眞澄氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議 事

1. 第1号議案「平成29年度事業報告承認の件」及び第2号議案「平成29年度収支決算報告承認の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した。引き続き、鈴木監事が、平成29年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「平成30年度事業計画（案）審議の件」及び第4号議案「平成30年度収支予算（案）審議の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した後、第3号議案及び第4号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

3. 第5号議案「新役員承認の件」について

本年度は役員改選の年に当たるため、五十嵐副会長より立候補者名簿に関する説明があった。その後、第5号議案について審議した結果、異議無く承認された。

以上で第41回通常総会の議事が終了し、17時20分、竹田副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議 長 佐 藤 隆 
議事録署名人 小 島 邦 夫 
議事録署名人 濱 砂 眞 澄 

平成 3 0 年 度

第 4 1 回

総 会 資 料

平成 3 0 年 5 月 8 日 (火)

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

総 会 次 第

1. 日 時 平成30年5月8日(火)
午後4時30分
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」
3. 総会の成立と開会宣言
4. 会長挨拶
5. 議長選出
6. 議事録署名人の選出
7. 議 案
 - 第1号議案 平成29年度 事業報告承認の件
 - 第2号議案 平成29年度 収支決算報告承認の件
監査結果報告
 - 第3号議案 平成30年度 事業計画(案)審議の件
 - 第4号議案 平成30年度 収支予算(案)審議の件
 - 第5号議案 新役員承認の件
8. 閉会の言葉

はじめに

平成29年度は、経済産業省が所管する検査・分析業の一端を担っている当協議会としても衝撃的なニュースが続いた年度となりました。具体的には、大手製鉄所の品質関連データの改ざんや大手自動車メーカーにおいて無資格者による完成車検査が長年に渡り行われていた実態が明らかになりました。こうした製品の品質に直結する不祥事は、これまで各業界の先人達が築いて来た日本製品ブランドの信頼性を著しく失墜させる出来事であり、日頃より「真理の探究」に務める我々にとりましては、残念なニュースでありました。その一方で、文化・スポーツ界においては、嬉しくまた頼もしいニュースが続きました。まずは、最年少の中学生プロ棋士藤井聡太四段（現六段）がデビュー以来公式戦29連勝の新記録を6月に樹立したのを始め、9月に開催された日本学生対抗陸上選手権男子100メートル決勝において、桐生祥秀選手が日本人で初めて10秒の壁を破り9秒98の日本新記録を樹立しました。さらに、2月～3月に開催された平昌オリンピック・パラリンピック冬季大会では、男子フィギュアスケートの羽生結弦選手が2連覇となる金メダルを獲得したのを始め、村岡桃佳選手は5個のメダルを獲得するなど多くの若手選手が大活躍し、平成のゆとり教育世代の良い面が実感された年度となりました。

そのような中、当協議会も創立40周年の節目を迎え6月1日に霞が関ビル東海大学校友会館において、通常総会后、記念式典を盛大に開催する事ができました。また、今年の3月には記念誌「40年のあゆみ」を発行することもできました。これも偏に、会員皆様、歴代会長、歴代役員の皆様を始め、東京都環境局ならびに生活文化局計量検定所、(一社)日本環境測定分析協会、各県単協議会や関係諸団体の皆様のご指導・ご鞭撻の賜物と感謝しております。当役員会と致しましては、引き続き「測定・分析データの信頼性及び品質向上」、「分析技術者の技術向上」をスローガンとして、業界の更なる発展に寄与すべく、会員企業同士、あるいは会員企業と協賛企業とが相互に交流できる種々の事業活動を継続的に努めて参ります。

平成29年度事業報告

平成30年3月31日現在の会員数及び役員は次の通りです。

* 会員数

正会員 65社 (入会1社、退会3社、賛助会員へ種別変更1社)
賛助会員 20社 (退会1社、正会員からの種別変更1社)
合計 85社

* 役員

会長 1名、副会長 2名、理事 6名、監事 2名、顧問 1名

1. 会議の開催

(1) 総会

平成29年度(第40回)通常総会

日時:平成29年6月1日(木) 14:30~15:20

場所:東海大学校友会館「望星の間」

出席者:50社(うち委任状27社)

(2) 理事会

協議会運営のため、全役員による理事会を開催しました。

理事会:5回開催

(平成29年6月1日、7月10日、10月6日、12月8日、平成30年3月16日)

(3) 委員会会議

技術、業務、広報の3委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催しました。

2. 事業活動

当協議会の目的を達成するため、セミナー、発表会、研修会などの各種事業を企画、開催しました。

(1) 創立40周年記念式典・祝賀会

① 創立40周年記念式典

日時:平成29年6月1日(木) 15:30~

場所:東海大学校友会館「阿蘇の間」

出席者:会員25社・48名

佐藤会長の挨拶に続き、来賓の方々よりご祝辞をいただきました。また、功労者表彰では、前会長の鈴木様が特別功労者、副会長を務められた日山様と百瀬様、理事を長年務められた川東様が功労者として表彰を受けられました。

記念講演では、東京都環境局環境改善部の茂木課長代理から「東京都土壌汚染対策アドバイザー制度」についてご講演をいただきました。

② 創立40周年祝賀会

日時:平成29年6月1日(木) 17:00~

場所:東海大学校友会館「望星の間」

出席者:会員28社・55名

佐藤会長の挨拶に続き、日環協 関口副会長による乾杯のご発声により祝賀会が始まりました。途中、特別功労者表彰、功労者表彰を受彰された皆様に対する記念品贈呈、受彰者挨拶がありました。アトラクションでは、鏡味千代さんの「太神楽」が行われ、皆様の喝采を受けていました。

(2) 新任者教育セミナー

第 10 回 新任者教育セミナーを(一社)日本環境測定分析協会 関東支部と共同開催しました。なお、今年度も千葉県環境計量協会、(一社)埼玉県環境計量協議会、(一社)神奈川県環境計量協議会の 4 県単が合同で実施し、ほぼ満席の 74 名の方々にご参加いただきました。

日 時：平成 29 年 6 月 21 日 (水) 10:00～17:30

場 所：(一社)日本環境測定分析協会 2F 研修室

参加者：74 名 (東環協:13、千環協:18、埼環協:17、神環協:26)

講義 1 (10:45～12:00)

(テーマ) 労働安全衛生について

(講師) セフティレビュー 大山 喜彦 氏

(概要) 労働災害、メンタルヘルス対策、リスクアセスメントについての講義に加え、労働安全衛生マネジメントシステム、ヒヤリ・ハット運動や KYT(危険予知訓練)による事故・災害防止、作業リスクの考え方についても説明がありました。受講者からは、災害がおきる 3 要因の話が役に立った、との感想が聞かれました。

講義 2 (13:00～14:30)

(テーマ) 環境計量の仕事とは

(講師) (一社)日本環境測定分析協会 関東支部長 津上 昌平 氏

(概要) 環境基本法を始めとした環境関連法規や、ISO、生物多様性、地球温暖化、オゾン層破壊といった国際的な取り決めについての講義がありました。また、環境計量士を始めとした資格についての説明もありました。受講者からは、多くの資格について教えていただき今後どのような資格を取ればいいのか良く解った、との感想が聞かれました。

講義 3 (14:45～16:15)

(テーマ) 精度良い測定のために

(講師) 村井技術士事務所 所長 村井 幸男 氏

(概要) サンプルングの際の目的の明確化、適切なサンプルング計画の必要性についてお話がありました。また、目的に合った分析法の選択と共に、精度管理の重要性についての講義がありました。受講者からは、ペットの残液処理の仕方など身近なことが多くとても勉強になった、との感想が聞かれました。

修了証授与式・名刺交換会 (16:15～17:30)

講義終了後、東環協、千環協、埼環協、神環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。名刺交換会では、参加者同士が互いに活発なディスカッションを行いました。

(3) 環境測定技術事例発表会

事例発表では、東環協から 3 題、大環協、埼環協、千環協より各 1 題、計 6 題の発表がありました。また、東京都計量検定所 検査課 尾形課長代理と(公財)東京都環境公社 東京都環境科学研究所 環境リスク研究科 下間科長には、それぞれ特別

講演をしていただきました。

日 時：平成 29 年 11 月 14 日(火) 10:00～17:20

場 所：アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

参加者：会員 21 社・54 名

特別講演 1

(テーマ) 計量証明検査及び立入検査について

(講師) 東京都計量検定所 検査課 課長代理 尾形 一也 氏

(概要) 計量検定所の担当業務の中から「特定計量器の計量証明検査における注意事項」や「立入検査における留意事項」について、近年の事例を交えてご紹介いただきました。

特別講演 2

(テーマ) 環境科学研究所の化学物質に関する主な調査・研究の紹介

(講師) (公財)東京都環境公社 東京環境科学研究所

環境リスク研究科長 下間 志正 氏

(概要) 環境科学研究所の沿革に始まり、研究所が現在取り組んでいる調査・研究についての詳細な説明がありました。また、「公開研究発表会」についてのご案内もしていただきました。

事例発表 ①

(テーマ) 河川水試料を対象とした直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩(LAS)のサロゲート分析法の開発

(発表者) 株式会社環境管理センター 今井 志保

事例発表 ②

(テーマ) 土壌の全量分解における評価事例

(発表者) 株式会社分析センター 清水 智夫

事例発表 ③

(テーマ) 生物応答を用いた排水の評価・管理手法(日本版 WET)と事業場排水への適用事例

(発表者) いであ株式会社 澤井 淳

事例発表 ④ <大環協・交流発表>

(テーマ) 共同住宅における給水設備音の測定と対策工事の事例

(発表者) 一般財団法人日本建築総合試験所 村上 剛士

事例発表 ⑤ <埼環協・交流発表>

(テーマ) 環境技術実証事業(ETV 事業)の概要と有機性排水処理技術の評価方法と課題について

(発表者) 一般社団法人埼玉県環境検査研究協会 岸田 直裕

事例発表 ⑥ <千環協・交流発表>

(テーマ) 細菌群集解析を用いた環境影響調査

(発表者) 中外テクノス株式会社 高橋 唯

(4) 技術研修会

本年度の技術研修会は、「水俣病の時代から水俣条約に至るまで」というテーマで(一社)日本環境測定分析協会 菅原技術部長からご講演いただきました。

日 時：平成 30 年 1 月 19 日(金) 15:30～16:40

場 所：アルカディア市ヶ谷「飛鳥」

参加者：会員25社・37名

(テーマ) 水俣病の時代から水俣条約に至るまで

(講師) 一般社団法人 日本環境測定分析協会 技術部長 菅原 昇 氏

(概要) 日本におけるこれまでの公害の歴史について遡り 1911 年からの各種環境問題について世界の諸情勢とも合わせてご説明いただきました。日本の 4 大公害病であるイタイイタイ病、水俣病、第二水俣病、四日市ぜんそくについて、各年代の状況、国内の諸政策等の動き、国際動向とも合わせて解説され、特に水俣病についてはその原因物質の把握の難しさ等について触れ、食物連鎖と生体濃縮のメカニズムとの関連をも含めて解説され非常に参考になりました。

(5) 新春賀詞交歓会

新春賀詞交歓会を、以下の通り開催しました。

日 時：平成 30 年 1 月 19 日 (金) 17:00~19:00

場 所：アルカディア市ヶ谷「霧島」

参加者：会員 31 社・55 名

佐藤会長からの新年挨拶に続いて、ご来賓の東京都環境局 松永環境改善部長、東京都計量検定所 下村検査課長よりそれぞれご挨拶を頂戴しました。その後、(一社)日本環境測定分析協会 松村会長による乾杯で新春賀詞交歓会の開会となりました。途中、新会員、賛助会員、協賛企業のご紹介を挟み、恒例のビンゴ大会となりました。沢山の賞品を無事に皆さんに渡し終えたところで、斉藤理事による「三本締め」によりお開きとなりました。

(6) 東環協ニュース

東環協ニュースを 3 回発行しました。

第 165 号：平成 29 年 7 月 31 日

第 166 号：平成 29 年 12 月 26 日

第 167 号：平成 30 年 3 月 15 日

(7) 会員名簿

平成 29 年 8 月に会員名簿を発行、会員及び都内自治体に配布しました。

(8) 東環協メール情報サービス

電子メールによる情報提供を 13 件 (No.275~No.287) 実施しました。

(9) 研修見学会

本年度の研修見学会は、昨年同様、首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会として、東京、神奈川、千葉、埼玉の首都圏 4 県単が合同で開催しました。

開催日：平成 29 年 10 月 5 日 (木)

場 所：「船の科学館／日本未来科学館」、「新東京丸乗船 東京港湾クルーズ」

参加者：34 名 (うち、東環協会員 13 社・26 名)

「船の科学館」では、海運の歴史から海に関する科学的、地形的、生物学的な見知までテーマごとに解りやすく展示されており、とても勉強になりました。また、初代南極観測船「宗谷」では 1956 年から 1962 年まで 6 次にわたる南極観測に活躍した頼もしい姿を見ることができました。続いて、隣接する「日本未来科学館」を見学し、最新の科学技術や科学技術者の成果を知ることができました。

昼食を挟み、午後は視察船「新東京丸」での湾内クルーズ。このクルーズは東京都港湾局が運行しているもので、単なる観光ではなく、東京港の目的や意義、使われ方などの詳しい説明を受けながらの1時間半のプログラムとなっており、とても貴重な経験となりました。

そして、研修会の最後は皆様お楽しみの屋内研修。銀座の老舗ビアホール〈ライオン〉にて美味しいビールを酌み交わしつつ、今日の研修の成果やこれからの環境業界のことなどを語り合いました。

(10) 首都圏環協連関連

各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換を行いました。

① 首都圏環協連委員会：3回開催

(平成29年6月15日、9月13日、12月13日)

② 平成29年度 環境計量証明事業者団体合同研修会

平成30年2月9日(於 東京国際フォーラム)

第1部 「各県単の活動と適正価格関連の取り組み状況について」

- ・各県単の活動と成果について発表
- ・日環協の活動について 日環協：松村会長

第2部 「災害防止協定等の取り組み状況について」

- ・神環協、埼環協 合同事例発表 野口理事(埼環協)
- ・愛環協 事例発表 大野副会長
- ・福環協 事例発表 山本会長

第3部 「意見交換会」

(11) 技術交流関係

今年度も、大阪環境測定分析事業者協会が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し、当協議会より1題を発表、技術交流を深めました。

開催日：平成29年10月20日(金)

(テーマ) 水道水検査における陰イオンと臭素酸の同時測定について

(発表者) 株式会社総合環境分析 原元 綾香

(12) 東京都計量検定所関連

今年度も「都民計量のひろば」の「環境と計量コーナー」を担当、ブース展示を行いました。

メインテーマ：くらしと計量(サブテーマ：消費者の信頼をささえる確かな計量！)

開催日：平成29年11月1日(水)

場 所：新宿駅西ロイイベントコーナー

主 催：都民計量のひろば実行委員会

(構成団体：東京都計量検定所、東京都環境計量協議会、(一社)東京都計量協会等18団体)

当協議会が担当した「環境と計量コーナー」では、今年も恒例の環境クイズを実施しました。クイズに参加された方は411名、クイズ終了後全員に(株)ヤクルト本社様よりご提供いただいたエコ商品(オープナー、定規等)をお渡ししました。また、今年は新たな企画として、いであ(株)様よりバイオウェザーサービスのパネル展示とパンフレットの配布を行いました。

(13) 親睦ゴルフ大会

① 平成 29 年度 第 1 回親睦ゴルフ大会 (通算第 34 回)

開催日：平成 29 年 7 月 7 日 (金)

場 所：阿見ゴルフクラブ

参加者：12 名

② 平成 29 年度 第 2 回親睦ゴルフ大会 (通算第 35 回) * 首都圏合同開催

開催日：平成 29 年 10 月 27 日 (金)

場 所：キングフィールズゴルフクラブ

参加者：24 名 (うち東環協会員 9 名)

(14) ホームページ

ホームページでは、各種行事のご案内や東環協ニュースを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月 1 回の更新を実施しました。

以 上

[第2号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

平成30年度 事業計画 (案)

1. 会議の開催

- (1) 総会 平成30年5月8日(火)
- (2) 理事会 6回程度(予定)

2. 事業活動

(1) 技術関係

- ① 新任者教育セミナー 6月6日
- ② 研修見学会 10月(予定)
- ③ 環境測定技術事例発表会 11月(予定)
- ④ 技術研修会 平成31年1月(予定)

(2) 業務関係

- ① 会員名簿の発行 7月(予定)
- ② 新春賀詞交歓会 平成31年1月(予定)
- ③ 首都圏その他の連絡会議への参加 随時
- ④ その他(各種親睦会等)
 - ・ゴルフ大会 6月、9月の2回(予定)
 - ・その他

(3) 広報関係

- ① ニュースの発行 年3回(予定)
- ② ホームページの更新 原則、月1回
- ③ 都民計量のひろば行事 11月1日(予定)
- ④ 各種資料の配付、メールサービス 随時

(4) 官公庁その他に対する協力

- ① 東京都計量検定所が行う講習会への協力
- ② 東京都環境局が行う講習会への協力
- ③ (一社)日本環境測定分析協会が行う行事への協力
- ④ その他

以上

[第4号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

役員承認の件（案）

東京都環境計量協議会役員立候補者名簿

任期:平成30年5月総会後～平成32年5月総会まで

	立候補者	会社名	
1	五十嵐 鋼	(株)東京環境測定センター	
2	石山 直樹	シグマジオテック(株)	会長推薦
3	池田 達也	(株)日本分析	
4	池田 善郎	いであ(株)	会長推薦
5	川東 光三	(株)トーニチコンサルタント	
6	佐藤 隆	(株)分析センター	
7	斉藤 徹	(株)環境管理センター	
8	志知 尚彦	帝人エコ・サイエンス(株)	
9	田口 和男	(株)オオスミ	
10	竹田 良平	ヒロエンジニアリング(株)	
11	中村 勉	(株)環境技術研究所	

※50音順、敬称略

目標定員：理事12名、監事2名

東環協選挙管理委員会

東京都環境計量協議会 第41回通常総会 出席者名簿

来賓 (一社) 日本環境測定分析協会 会長 松村 徹 様
 // 関東支部長 津上 昌平 様

No.	会社名	出席者名	備考
1	いであ (株)		
2	(株) エオネックス		新会員
3	(株) オオスミ		
4	(株) 化学分析コンサルタント		
5	(株) 環境管理センター		
6	(株) 環境技術研究所		
7	(株) 環境総合テクノス		
8	(株) 産業分析センター		
9	(株) サンコー環境調査センター		
10	シグマジオテック (株)		
11	(株) 島津テクノリサーチ		
12	新日本環境調査 (株)		
13	(株) 総合環境分析 東京技術センター		
14	ダイヤアクアソリューションズ (株)		
15	帝人エコ・サイエンス (株)		
16	(一財) 東海技術センター		
17	(株) 東京環境測定センター		
18	(株) トーニチコンサルタント		
19	(株) 日新環境調査センター		
20	(株) 日本シーシーエル		
21	(株) 日本総合科学		
22	(株) 日本分析		
23	ヒロエンジニアリング (株)		
24	(株) 分析センター		
25	環境工学研究所		賛助
26	東ソー (株)		賛助
27	日本インスツルメンツ (株)		賛助
28	ネオ環境システム (株)		新賛助会員
29	ラボテック (株)		賛助

正会員 24社 27名
 賛助会員 5社 5名
 計 29社 32名

委任状

・(株)伊藤公害調査研究所・エヌエス環境(株)・(株)環境技研・(株)環境技術センター・(株)環境総合リサーチ・(株)協進エンジニアリング・共和化工(株)・クボタ化水(株)・(株)クレアテラ・(一財)小林理学研究所・三葉化工(株)・(株)ジェイペック・(株)総合水研究所・中央建鉄(株)・(株)長大 東京支社・内外化学製品(株)・日本板硝子環境アメニティ(株)・日本エコテック(株)・日本滌化化学(株)・(一財)日本食品分析センター・(株)日本線路技術・日本物理探鑛(株)・芙蓉化学工業(株)・ムラタ計測器サービス(株)・(株)ヤクルト本社 中央研究所 附属分析センター・八千代エンジニアリング (株)

26社

第 41 回通常総会後の懇親会報告



<佐藤会長挨拶>

総会終了後の 17 時 30 分から、恒例の懇親会が同じくアルカディア市ヶ谷 4 階「飛鳥（西）」にて、会員企業 30 社 49 名、来賓 3 名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。来賓には東京都生活文化局 計量検定所検査課長 下村欣吾様、(一社) 日本環境測定分析協会 会長 松村徹様、同 関東支部長 津上昌平様をお迎えしました。

笹嶋委員の司会により、冒頭に佐藤会長の挨拶、次いで東京都計量検定所 下村検査課長、日環協 松村会長からご祝辞をいただきました。日環協 津上関東支部長による乾杯のご発声により懇親会が始まり、それぞれ歓談しながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。

途中、新しく役員に就任された石山理事、池田監事からの就任挨拶がありました。また、長きにわたり役員を務めてこられた鈴木氏からは、退任の挨拶がありました。その他、賛助会員の皆様からの挨拶も行われました。

宴たけなわの中、川東理事の音頭による中締めで、懇親会はお開きとなりました。



ご来賓の皆様への祝辞

東京都生活文化局 計量検定所 検査課長 下村 欣吾 様



只今ご紹介いただきました、東京都生活文化局 計量検定所検査課長をしております下村と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

本日は、東京都環境計量協議会 第 41 回通常総会が斯くも盛大に行われましたことをお慶び申し上げます。またこの場にお招きいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

現在、都内の環境計量証明事業者様におかれましては、年間 8 万件前後、計量法に基づく環境計量証明が行われております。それらの結果一つひとつが、都をはじめとする地域の良好な環境の創出、生活者の皆様の安全安心の確保に役立てられていると思っております。証明書の発行にあたっては高度な知識や技術が必要なことはもちろんですが、公の証明書を発行するという重大な社会的責任も負うこととなります。こうした中、東京都環境計量協議会様におかれましては、技術研修会や事例発表会など様々な取り組みにより、環境計量に関する知識、技術の維持向上にご尽力され、環境計量証明事業の社会的な信頼性向上に大きく貢献されているものと存じます。一方、私共計量検定所検査課では、環境計量証明事業者様への立入検査を実施することで、事業登録の基準が守られているか、適正に事業が運営されているか等を検査し、不適正がある場合には改善指導を行い事業の適正化に努めております。このようにお互い立場は異なりますが、環境計量証明事業の社会的信頼性を更に高めていこうという方向では一致いたしているものと認識しております。協議会の皆様とは、これからも一定の緊張感を保ちつつ、良好な関係を築いていきたいと考えております。

また、11 月 1 日の計量記念日に新宿駅西口広場で行っております都民計量のひろばにおきまして、協議会の皆様方には環境と計量のコーナーへの出展、運営にご協力いただいております。こうした普及啓発活動を通じて、環境計量に関する社会的認知度を高めていくことは、環境計量証明事業の健全な発展にとって非常に大切なことであると認識しております。このように私共の業務につきましても、日頃より深いご理解と多大なるご支援をいただいておりますこと、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。今後とも計量検定所の業務につきましてもご支援くださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、東京都環境計量協議会の皆様方の益々のご発展、本日もご参会の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。

本日は、有難うございました。



皆様こんばんは、日環協の松村でございます。

本日は、東京都環境計量協議会の第41回総会が無事終わられましたこと、おめでとうございます。東環協の皆様には、日頃より日環協の活動にご尽力いただいております、この場をお借りして御礼申し上げます。

本日は、日環協の最近の活動を一つご紹介させていただきます。今までにもあちこちで何回か話をしているので、すでにお聞きになっている方も居られると思いますが、大切な話ですので繰り返しご紹介させていただきます。

3月23日に環境省の水・大気環境局長の所に、我々の業界を代表して日環協から要望書を提出させていただきました。正しい仕事をするところに仕事に来るような仕組みを作ってほしいというものです。

大きくは5項目の要望を掲げております。詳しくは、日環協のホームページに載せてありますのでまだご覧になっておられない方はそちらでご確認ください。

簡単に説明しますと、1番目は、技能試験に参加しているかどうかを入札要件で見てほしいというものです。日環協も技能試験を幾つも行っておりますので、もし余り参加しておられない方がおりましたら、ぜひ参加するようお願いいたします。2番目は、環境測定分析士、こちらの評価を入札要件に入れてほしい。3番目は、これらの分析技術の評価するような入札制度をしっかりと作ってもらいたい。4番目は、委託した期間中に業務が正しく行われているかの確認・調査を立ち入りも含め実施してほしい。5番目は、平成22年に出されている「環境測定分析を外部に委託する場合における精度管理に関するマニュアル」が古くなってきているので、見直しを行い各自治体に周知徹底してください、ということです。

これらの5項目ですけれども、環境省自体はすでになりのことは行っております。我々の目的としては、もう一回全国自治体などにこういった情報を環境省から発信してほしいということです。

環境省からこの文書は配布しても良いという許可を貰っておりますので、皆様、日環協のホームページからダウンロードしてご活用ください。これにより、値段ではなく正しい測定が行われるところが選定されるようになって行けば良いと考えております。

以上、3年越しの課題が少し進んだことを紹介させていただきました。今後、これを皆さんと一緒に進めて行ければと思っております。

本日は、お招きいただき誠に有難うございました。



<津上支部長の乾杯>



<司会する笹嶋委員>



<懇親会風景>



<懇親会風景>



<中締め 川東理事>

東京都環境計量協議会第41回通常総会懇親会 出席者名簿

来賓 東京都計量検定所 検査課長 下村 欣吾 様
 (一社)日本環境測定分析協会 会長 松村 徹 様
 // 関東支部長 津上 昌平 様

No.	会社名	出席者名	備考
3	いであ (株)		
5	(株) エオネックス		新会員
6	(株) オオスミ		
7	(株) 化学分析コンサルタント		
10	(株) 環境管理センター		
11	(株) 環境技術研究所		
12	(株) 環境総合テクノス		
13	(株) 産業分析センター		
14	(株) サンコー環境調査センター		
15	シグマジオテック (株)		
17	(株) 島津テクノリサーチ		
18	新日本環境調査 (株)		
20	(株)総合環境分析 東京技術センター		
21	帝人エコ・サイエンス (株)		
22	(一財)東海技術センター		
25	(株) 東京環境測定センター		
26	(株) トーニチコンサルタント		
28	(株) 日新環境調査センター		
29	(株) 日本シーシーエル		
30	(株) 日本総合科学		
31	(株) 日本分析		
33	ヒロエンジニアリング (株)		
37	(株) 分析センター		
38	環境工学研究所		賛助
39	東ソー (株)		賛助
41	日本インスツルメンツ (株)		賛助
42	ネオ環境システム (株)		新賛助会員
44	ビーエルテック (株)		賛助
45	松田産業 (株)		賛助
46	ラボテック (株)		賛助

来 賓 3名
 正会員 23社 37名
 賛助会員 7社 9名
 計 30社 49名

平成 30 年度 新任者教育セミナー報告

当協議会では今年度も「環境計量測定データの信頼性の向上」を目的として各種技術講習会等を企画してまいります。その一環として昨年に引き続き日環協関東支部との共催で、新任者や若手分析技術者を対象とした『新任者教育セミナー』を開催いたしました。11 回目の開催となる今年度も一都三県の合同開催となり、ほぼ満席の 86 名（東環協：27 名、千環協：14 名、埼環協：15 名、神環協：30 名）と多くの方にご参加いただきました。

日 時 : 平成 30 年 6 月 6 日 (水) 10:00~17:30
場 所 : (一社)日本環境測定分析協会 2階研修室

講義 1 「労働安全衛生について」 (10:45~12:00)

講 師 : 中央災害防止協会 東京安全衛生教育センター
大山 喜彦 氏



〔講義目次〕

1. 労働災害発生状況
2. 労働安全衛生法とは
3. 事業場の安全衛生管理体制
4. 災害発生の仕組みと災害原因
5. ハイインリッヒの 1:29:300 の法則
6. 労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) とリスクアセスメント
7. 化学物質管理のリスクアセスメント
8. 危険予知訓練と指差呼称

〔講義概要〕

労働災害の発生件数は年々減少しているが、重大事故はやや増加の傾向にある。労働安全衛生法は、職場での事故、健康被害を予防するためにある。労働災害の発生の仕組み、原因を調査し、人のミス、装置等の故障が起きても災害にならない安全管理を構築する必要がある。また、ヒヤリ・ハット運動やKYT (危険予知訓練) による事故・災害防止の方法についての説明があった。

近年では平成 18 年、26 年に法改正が有り、メンタルヘルス対策としてのストレスチェックや化学物質に対するリスクアセスメントの義務化が定められた。併せて、労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) 導入の背景、必要性が説明された。さらに、化学物質管理のリスクアセスメントの実施方法、作業リスクの考え方について説明があった。

講義 2 「環境計量の仕事とは」 (13:00~14:30)

講師：小池技術士事務所 所長 小池 満 氏



〔講義目次〕

1. 環境計量の関係法令
2. 計量法と事業登録制度
3. 「環境計量」の関連事項
4. 環境計量に携わる技術者として

〔講義概要〕

環境学の領域について幅広い知識と専門性を身につけ、環境計量士や技術士等の資格に挑戦してもらいたい。また、環境測定に携わる分析技術者は、特に日頃のルーチン分析の中で異常値に注意を払うことが大切で、幅広く原因究明に当たるべきと説明があった。次に環境問題の歴史的背景について、公害の原点、公害の定義（典型7公害）、公害問題から環境保全への変遷の説明があった。

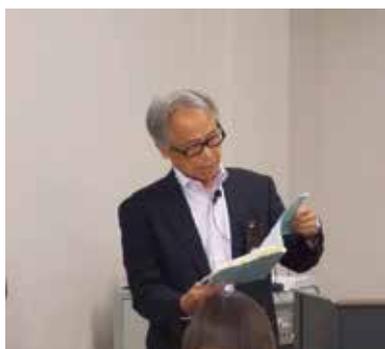
環境関連法規は、環境基本法を中心に水、大気、土壌、騒音・振動、リサイクル等多岐にわたる法律で形成されている。環境計量の関連法令として、特に、環境基準、その分析方法について告示、JISを理解することが大切で、JISについては頻繁に改訂されるので最新版をしっかりと確認することが必要である。

計量法や私たちが行っている環境計量証明事業の環境測定・分析に関わる事業登録、計量証明には国際単位系（SI）を用いることについて説明がなされた。他にISO等の国際規格があり社会のグローバル化と共に、取得の必要性が増している。

環境測定に携わる分析技術者として、常に向上心や探究心を持ち「理論」と「実践」のバランス良い自己研鑽を積み重ね、資格取得に挑戦してもらいたい。

講義 3 「精度良い測定のために」 (14:45~16:15)

講師：村井技術士事務所 所長 村井 幸男 氏



〔講義目次〕

1. サンプルング（水質、大気、土壌、底質）
2. 環境測定に関する化学分析の基礎、機器分析法
3. 測定値の管理、データの取り扱い

〔講義概要〕

新任者教育テキストを中心に、重要なポイントについて、スライドにより詳細な説明があった。

環境測定においては、サンプリングが重要であり、いかに精度良い分析を行ってもサンプリングに誤差があつては、正しい測定結果は得られない（ポイント：「サンプリングとは」、「サンプリング誤差のチェック方法」）。

環境測定に関する化学分析の基礎については、目的に合った分析方法の選択と共に、精度管理が重要であり、測定環境からの汚染（コンタミネーション）の防止、使用器具の正しい操作、試薬、標準液、試験に使用する水の管理が大切である（ポイント：「環境測定に関する化学分析の基礎」、「精度と正確さ」、「トレーサビリティとは」、「試料分解」）。

また、機器分析法では、検出限界、ブランク値、相対測定への認識、定量方法について、理解しておく必要がある（ポイント：「ブランク値」、「相対測定への認識」）。

測定値の管理については、数値の丸め方、管理図等による測定値の自己管理が大切であるとともに、近年の技能試験等の統計処理では z スコアが用いられており、自分の測定結果の精度を確認すると共に、外れ値となった場合には、その要因を検討しておく必要がある（ポイント：「測定値の自己管理」、「 z スコア」）。

また、分析誤差について説明があつたが、分析値の不確かさについては時間がなく、重要どころなので、テキストをしっかりと読んでおくようにと話された（ポイント：「精度、真度（正確さ）、精確さ」、「分析の不確かさ」）。

アンケート結果（抜粋）

年 齢：10・20代 76%、30代 24%、40代 0%、50代以上 0%

性 別：男 35%、女 59%、未回答 6%

入社年数：1年未満 65%、1～3年 29%、3～5年 0%、5年以上 0%、未回答 0%

分析・測定の分野：大気、水質、底質、土壌、産業廃棄物、騒音・振動、作業環境、農薬、
アスベスト、金属、その他

講義内容については、3題とも「大変参考になった」「参考になった」が82%以上でした。



〔名刺交換会〕

セミナー終了後、東環協、千環協、埼環協、神環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。授与式の後、5階の懇親会会場に移動し、名刺交換会を行いました。入社間もない参加者にとっては貴重な名刺交換の機会であり、活発にディスカッションを行っていました。限られた時間内での講義で質問時間も限られていたため、名刺交換会では講師の方に積極的に質問する参加者の姿も見受けられました。

また、今回も参加者の皆さんにはアンケートをお願いしました。講義についての感想は、講師の方々にフィードバックするとともに、その一部は上記、記事に掲載いたしました。参加者の方の貴重なご意見・ご要望については、今後の東環協の運営に反映させていただきます。



<受講風景>



<修了証授与式>



<名刺交換会風景(1)>



<名刺交換会風景(2)>

平成30年 新任者教育セミナー 参加者名簿

平成30年6月6日(水)

於 (一社) 日本環境測定分析協会 研修室

講師

中央災害防止協会 東京安全衛生教育センター		大山 喜彦 様
小池技術士事務所	所長	小池 満 様
村井技術士事務所	所長	村井 幸男 様

会員

No.	会社名	氏名	備考
1	いであ(株)		
2	(株)環境管理センター		
3	〃		
4	〃		
5	〃		
6	〃		
7	〃		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	(株)環境技術研究所		
15	〃		
16	(株)サンコー環境調査センター		
17	〃		
18	〃		
19	(株)ジェイペック		
20	シグマジオテック(株)		
21	〃		
22	(株)日本シーシーエル		
23	芙蓉化学工業(株)		
24	ヒロエンジニアリング(株)		
25	(株)分析センター		
26	〃		
27	〃		

10社 27名

新役員の挨拶

平成 30 年度の総会において役員の改選があり、9 名の役員が再任され、2 名の新役員が承認されました。新たな役員は以下のとおりです。

- ・理 事 : 石山 直樹 シグマジオテック株式会社
- ・監 事 : 池田 善郎 いであ株式会社

新しく役員になられました各氏に、今後の抱負を含めご挨拶をいただきました。

石山 直樹 理事 [シグマジオテック(株)]



5 月に開催された第 41 回通常総会において新たに理事に選任されましたシグマジオテック株式会社の石山直樹でございます。前職在籍時には、東京都環境計量協議会の役員・会員さまに大変お世話になっておりましたが、新たな活躍の機会を得て 4 年ぶりに皆さまとお目にかかれることを大変うれしく思っております。

微力ながら東京都環境計量協議会の発展と役員・会員さまのお役にたてるよう尽力させていただきたいと思っておりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いいたします。

池田 善郎 監事 [いであ(株)]



この度、第 41 回通常総会にて新しく役員に選任されました、いであ株式会社の池田善郎でございます。今まで当社から鈴木が役員を務めていましたが、鈴木の後任で、初めて東京都環境計量協議会の役員を務めさせていただきます。まだ、わからないことが多く、皆さまの迷惑にならないよう努力していくつもりです。

微力ながら東京都環境計量協議会の運営に寄与したいと思いますので、役員・会員皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしく宜しくお願いいたします。

役員の役割分担

平成 30 年度は、下記のような役員の役割分担で事業を進めて参ります。

	佐藤	竹田	五十嵐	川東	田口	斉藤	志知	池田(達)	石山	中村	池田(善)
役員会議事録							◎	○			○
ホームページ管理			○			○		◎			
資料作成管理		○	○								
会員名簿管理		◎									
首都圏連絡委員会	◎	○				○				○	
東環協ニュース				◎				○			○
官庁関係挨拶等	◎	○	○								
新任者教育セミナー	○	◎							○		
日環協関東支部セミナー	◎	○	○								
研修見学会					○	◎		○	○		
大環協事例発表会	◎		○								
技術研修会	○		◎	○		○	○	○			○
事例発表会	○		◎	○		○	○	○			○
都民計量のひろば		○			○		◎		○	○	
懇親会(ゴルフ、その他)					◎				○	○	
新春懇親会	○	◎	○								
総会	○	◎	○								
会計監査	○	○	○							◎	○
役員会招集	○	◎	○								
事務局		◎									

◎ 主担当 ○ 担当

関係機関・団体の動き

平成 30 年 6 月現在で、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| ・ 第 1 回委員会 | 6 月 4 日 | (株)分析センター |
| ・ 第 2 回委員会 | 8 月 23 日 | 未定 |

○ (一社)神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|---------------------|----------|----------------|
| ・ 通常総会 | 5 月 31 日 | ホテル横浜ガーデン |
| ・ 親睦会 | 6 月 4 日 | 房総カントリークラブ |
| ・ 新任者教育セミナー (日環協共催) | 6 月 6 日 | (一社)日本環境測定分析協会 |
| ・ 親睦地曳き網大会 | 7 月 22 日 | 堀川網 (鵜沼海岸) |

○ (一社)埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|---------------------|----------|----------------|
| ・ 第 42 回通常総会 | 5 月 25 日 | 大宮サンパレス |
| ・ 新任者教育セミナー (日環協共催) | 6 月 6 日 | (一社)日本環境測定分析協会 |

○ 千葉県環境計量協会

- | | | |
|---------------------|-----------|----------------|
| ・ 通常総会 | 4 月 20 日 | プラザ菜の花 |
| ・ 新任者教育セミナー (日環協共催) | 6 月 6 日 | (一社)日本環境測定分析協会 |
| ・ ソフトボール大会 | 7 月 7 日 | 稲毛海浜公園 |
| ・ 研修見学会 | 10 月 17 日 | ライオン工場見学他 |

○ (一社)日本環境測定分析協会

- | | | |
|-------------------------------|---------------|-------------------|
| ・ 通常社員総会 | 5 月 22 日 | タワーホール船堀 |
| ・ 第 30 回 関東支部・環境セミナー in 新潟 | 7 月 19～ 20 日 | ANA クラウンプラザホテル新潟 |
| ・ 第 26 回 環境セミナー全国大会 in Sendai | 10 月 11～ 12 日 | ホテルメトロポリタン仙台 |
| ・ 第 21 回 経営者セミナー in 金沢 | 11 月 8～ 9 日 | 金沢東急ホテル・金沢商工会議所会館 |

東環協からのお知らせ

○ 平成 30 年度 第 1 回 親睦ゴルフ大会報告 (通算 36 回)

去る 6 月 22 日 (金) に茨城県かすみがうら市のセゴビアゴルフクラブ イン チヨダにて親睦ゴルフ大会を開催いたしました。梅雨の真ただ中でしたので天候が心配でしたが予想に反し、晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和となりました。

今回は OB を含めた 15 名にご参加をいただきました。このコースはスペインをイメージした設計になっており、バブルの時代にできたコースなのかクラブハウスも豪華でレストランからはコースが一望できる設計になっていました。どのようなコースなのかワクワクしながらのスタートとなりました。コース自体はフラットでレイアウトも面白く記憶に残るホールが多くありました。後半の数ホールは池、クリーク、バンカー、ラフが巧みに絡み苦勞された方も多く見受けられました。

表彰式を兼ねたパーティーでは、順位賞やドラコン・ニアピン賞が発表される度に歓声が上がっていました。最後に、優勝者のスピーチで締め括りました。久しぶりにお会いする OB の方との会話も弾み大いに親睦を深められたと思います。

秋は首都圏合同での開催になります。開催日は 10 月 26 日、千葉県某所 (未定) にて行う予定です。次回も多くの方の御参加をお待ちしております。

以上

○ 平成 30 年度これからの主要行事予定

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| ・ 研修見学会 | 10 月 |
| ・ 技術研修会 | 平成 31 年 1 月 24 日 (木) 予定 |
| ・ 都民計量のひろば | 11 月 1 日 (木) |
| ・ 平成 30 年度第 2 回 (通算第 37 回) 親睦ゴルフ大会 | 10 月 26 日 (金) |
| ・ 環境測定技術事例発表会 | 11 月 20 日 (火) 予定 |
| ・ 賀詞交歓会 | 平成 31 年 1 月 24 日 (木) 予定 |

○ 事務局からのお知らせ

- ・ 会員の動き (第 167 号 (3 月 15 日発行) 以降の会員動向を掲載)

入会された会員

① 会員区分：正会員

会 員 名：(株) エオネックス 東京支店

代 表 者：代表取締役 市山 勉

連絡担当者：支店長 坂田 信和

TEL:03-6808-4426 , FAX:03-6808-4427

② 会員区分：賛助会員

会 員 名：(株) リガク 東京支店

代 表 者：代表取締役 志村 晶

連絡担当者：東京 1 課 課長 増山 勝美

TEL:03-3479-6011 , FAX:03-3479-6171

③ 会員区分：賛助会員

会 員 名：ネオ環協システム（株）
代 表 者：代表取締役 末武 尚之
連絡担当者：代表取締役 末武 尚之
TEL:03-6902-9594 , FAX:03-6902-9694

現在の会員数（平成30年 6月現在）

正 会 員 65社
賛助会員 20社 合 計 85社

○ 編集後記

役員一同の協力により、平成 30 年度最初の「東環協ニュース」第 168 号が無事に完成しましたので皆様にお届けいたします。今回は、第 41 回通常総会と懇親会、新任者教育セミナーを中心に編集しました。

今後も会員の皆様のご協力を得ながらより良いものにしたいと思います。「東環協ニュース」に関するご意見、ご感想等がございましたら、事務局、役員まで気軽にご連絡ください。宜しく願い申し上げます。

【 東環協ニュース（第167号）に関するお詫びと訂正 】

前号、東環協ニュース（第167号）の一部に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、つぎのとおり訂正いたします。

- ・表紙 「新年のご挨拶」 上から 3 行目
誤：『東京都生活環境局計量検定所』
正：『東京都生活文化局計量検定所』
- ・P 9 「新年挨拶」のコーナー 右上
誤：『東京都生活環境局計量検定所』
正：『東京都生活文化局計量検定所』

アジレントの幅広い元素分析製品群

原子吸光からトリプル四重極ICP-MSまで
- 独自の技術を備えた革新的な製品 -



原子吸光

ファーストシーケンシャル
による高い生産性を実現



4210 MP-AES

窒素プラズマによる安全性・
低いランニングコストを実現



5110 ICP-OES

高精度・迅速測定・簡単操作
を実現



7800 ICP-MS

自動最適化ツールとルーチン
分析を容易にするプリセット
メソッドを搭載



7900 ICP-MS

最高の性能を誇る卓越した
感度、マトリックス耐性、
ダイナミックレンジ
などを実現



8900 トリプル四重極ICP-MS

MS/Mテクノロジーによる
優れた干渉除去機能と
優れたアバundance感度を実現

アジレント・テクノロジー株式会社

〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

フリーダイヤル 0120-477-111 www.agilent.com/chem/jp

人と技術と環境の調和

Harmony among People, Technology, and Environment

高圧ガス工業グループ

安全

アセチレンガスのトップメーカーとして無事故の実績を水平展開する事によりガスの安全を追及

技術

安心

事業継続計画(BCP)による高圧ガス工業グループのガス充填工場5ヶ所(首都圏)より安定したガス供給体制

サービス

高圧ガス工業グループ33カ所(首都圏)体制によるフットワーク

JCSS標準ガス

キャリアガス

非接触型LSIカード

容器管理システム

ネットワークであらゆるニーズにお応えします

特殊塗料

衝撃吸収シート

瞬間接着剤

設計・製作・工事



高圧ガス工業株式会社

本社
東京事務所

大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル28階
東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階
ホームページ <http://www.koatsugas.co.jp>

TEL:06-7711-2570(代)
TEL:03-3595-3128(代)

特許第 505524 号

DIK-2610

無粉塵型自動粉碎篩分け装置

RK4II

- 環境分析の土壌粉碎・篩分けに最適
- 土壌前処理時間の大幅な短縮を実現
- 多試料の土壌粉碎と篩分けが短時間で可能
- 粉塵がでないため、放射能汚染土壌の粉碎や篩分けも安心
- 土壌の粉碎と直径 2mm 以下の篩分け工程が 1 台の装置で可能

無粉塵

粉 碎

篩分け

短時間

多試料



Webで
動画公開中!!

Web検索

検索 

土と水を守る

本社・工場 〒365-0001
西日本営業所 〒520-0801

大起理化工業株式会社

埼玉県鴻巣市赤城台212-8
滋賀県大津市におの浜2-1-21

<http://www.daiki.co.jp>

TEL 048-568-2500
TEL 077-510-8550

FAX 048-568-2505
FAX 077-510-8555

Ecologically Clean



オルガノ代理店 株式会社 東京科研

Ultra Purewater Technology of ORGANO

オルガノの超純水技術を凝縮した卓上装置の決定版!

超純水装置 **ピューリック® FP-^{アルファ}** 純水装置 **ピュアライト® PR-**

多様のニーズに応える多彩な機種をラインナップ。

高い水質グレードだけでなく、操作性、デザイン性まで突きつめた

新しい **α** の領域を体感下さい。

高品質・消耗品の低コストを実現いたしました。



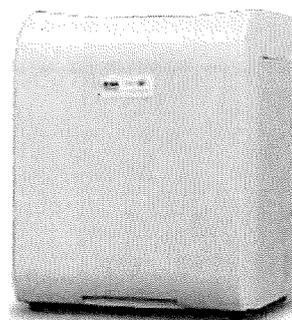
- ディスペンサー特殊ノズル。1滴採水～最大流量でも飛散の少ないスムーズな採水可能。
- 採水口の菌汚染対策用に新型UVの有無を選択できます。
- タンク内の制菌用に新型UVの有無を選択できます。

- 高性能ディスペンサ / 超純水、純水合わせて3台まで搭載可能。(7.5mの範囲) / 「タッチパネル付」

超純水装置 **ピューリック FP-α**

- FP-0120α-UT0(UF仕様 TOC計付) 標準価格 ¥1,340,000
- MT0(MF仕様 TOC計付) 標準価格 ¥1,205,000
- M00(MF仕様) 標準価格 ¥812,000

- 超々純水用に独自精製した次世代イオン交換樹脂を採用しました。TOC溶出を最小限にしたイオン交換を二段処理しますので高純度かつ低TOCな超純水を安定的にご使用できます。
- 全ての機種で超純水タンク循環システムを採用しました。循環ラインから外れた場所で溶出や汚染の起きやすい採水口フィルターをつけなくても各種高感度分析に使用できます。
- 各種オミクスなどのバイオ研究用にUF仕様を採用すれば、RNase、DNase、エンドキシンフリーな超純水をご使用できます。またDEPC処理を不要にできますので、処理後のオートクレーブも不要です。

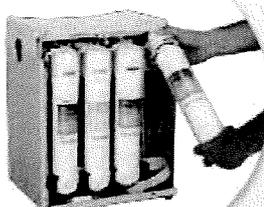


純水装置 **ピュアライト PR-α**

- PR-0015α-000(ベース仕様) 標準価格 ¥669,000
- X00(A4準拠) 標準価格 ¥875,000
- XT0(A4準拠 TOC計付) 標準価格 ¥1,258,000

- 簡単操作で低コストなワンタッチカートリッジを採用しました。カートリッジ交換が簡単装着可能。
- 純水装置では実現できなかったJIS K 0557 A4グレードの水を製造可能になりました。A4対応蒸留器の代替として節電、節水の省エネルギー化を実現できます。

簡単操作な
ワンタッチ
カートリッジ



お問い合わせ先 株式会社東京科研 機器営業部 TEL.03-3611-3817

さらに進化したニューコンセプトIC…

イオンクロマトグラフィー システム

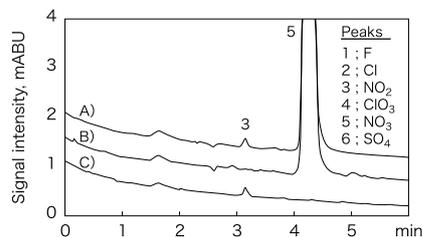
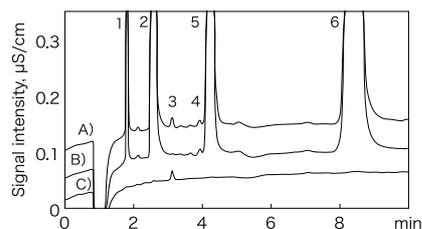
IC-2010

IC-2010



イオンクロマトグラフィー システム IC-2010

水道水中の亜硝酸態窒素の測定



(上段:電気伝導度検出, 下段:紫外吸光度検出)

カラム: TSKgel SuperIC-Anion HS (4.6 mm I.D. x 10 cm)
 検出: 電気伝導度検出(サプレッサー使用)
 紫外吸光度検出(210 nm)
 試料: A) 亜硝酸イオンを添加した水道水(NO₂-Nとして0.004 mg/L)
 B) 水道水
 C) 亜硝酸イオン標準試料(NO₂-Nとして0.004 mg/L)

高速
多検体

- ▶ 測定時間5分のハイスループット分析を実現
- ▶ 内蔵オートサンプラによる連続多検体処理に対応

高機能

- ▶ 希釈時間5分の自動希釈機能を搭載
- ▶ 水道GLPサポート機能を搭載

高感度

- ▶ 自動交換型ゲルサプレッサ方式で高感度分析が可能



東ソー株式会社
 バイオサイエンス事業部

東京本社営業部 ☎(03)5427-5180 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2
 大阪支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4-4-9
 名古屋支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7
 福岡支店 ☎(092)781-0481 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2
 仙台支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
 山口営業所 ☎(0834)63-9888 〒746-0015 山口県周南市清水1-6-1
 カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1
 バイオサイエンス事業部ホームページ <http://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

写真整理や帳票作成の手間を軽減します！

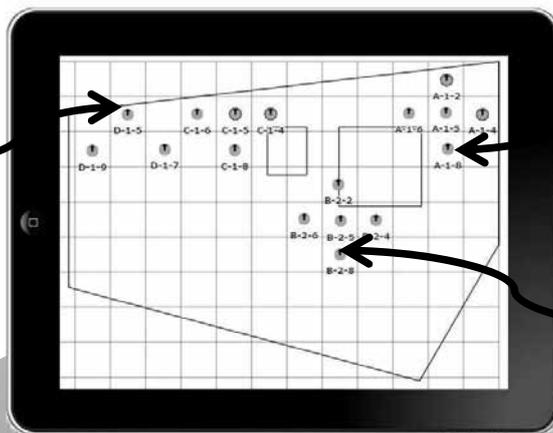
土壤調査支援システム pictum土壤調査版

帝人エコ・サイエンス株式会社監修

製品の特長



ボーリングバー
削孔状況



施工後



検尺

写真整理！



簡単帳票作成！



データ共有！

タブレットを現場で活用すると…???

- ✔ 地歴調査の現地踏査写真整理業務、工数80%削減！
- ✔ 土壤汚染状況調査の写真整理業務、工数50%削減！
- ✔ 現場管理者が調査進捗状況をリアルタイムに確認可能！
- ✔ 作業員が試料採取済み箇所を瞬時に把握！

pictum

検索

■製品のお問い合わせ

日本コントロールシステム株式会社
<http://www.nippon-control-system.co.jp/>

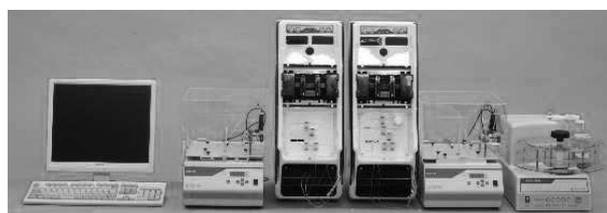
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館5F
TEL : 03-3443-5081 (ピクタム担当)
MAIL : pictum@nippon-control-system.co.jp

ビーエルテックの自動化学分析装置

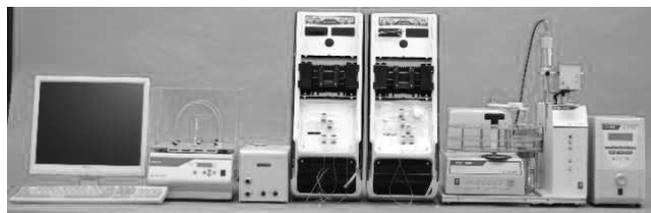
BLTEC 新型オートアナライザー 「SYNCA」

ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 デテクターの向上(24ビット)によりデータ量が多く取り出すことができます。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102対応メソッドです。1時間20検体測定ができます。
- 8 原理は、気泡分節型連続流れ分析法(CFA)で計量証明機関で多くの実績があります。



SYNCA - ふっ素シアン



SYNCA - 全窒素全りん

2013年9月20日に
流れ分析水質試験方法(JISK0170)
が工場排水試験法(JISK0102)に
収載されました。

2014年3月20日に環境省告示に
流れ分析法が追加されました。

JIK0102	項目名	JIK0102	項目名
28.1.3	フェノール類	43.1.3 43.2.6	亜硝酸イオン 硝酸イオン
30.1.4	陰イオン界面活性剤	45.6	全窒素
34.4	ふっ素化合物	46.1.4 46.3.4	りん化合物 全りん
38.5	シアン化合物	65.2.6	クロム(VI)
42.6	アンモニウムイオン		

全自動酸化分解前処理装置

DEENA

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます(オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60
(50mlバイアル 60本掛け)



DEENAm
(50mlバイアル 30本掛け)



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F
TEL:06-6445-2332 FAX:06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F
TEL:03-5847-0252 FAX:03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

MIKAMI

MIKAMI Co., Ltd.

「お客様の必要とするお品物を必要な時間までに」

私達株式会社ミカミは、化学薬品を基盤に、研究開発用高純度試薬、理化学機器等の販売を通じ、新製品開発分野、衛生管理分野、バイオ、IT、環境関連の新エネルギー分野で活躍されている幅広いお客様に多くのことを教えて頂きながら、お客様と共に、更なる21世紀の発展の一助になれるよう努力いたします。将来、業界の発展のために、“日々勉強”の気持ちを忘れず、お客様のお役にたてますよう、これからも弛まぬ努力を惜しまず、社員一同精進して参ります。

営業内容

試薬・医薬品・動物薬品・理化学機器・修理・中古機器



株式会社ミカミ

〒131-0032 東京都墨田区東向島5-4-12

TEL:03-3610-0331 FAX:03-3610-0334

E-Mail: info@kkmikami.co.jp

HP: <http://www.kkmikami.co.jp>

超純水初！ ラボ市場初*！
水銀フリー UV ランプ搭載

MERCK

超純水製造装置 Milli-Q® IQ 7000

最高水質の超純水を超簡単・超快適に採水
一つのユニットから多目的のアプリケーションに対応

使いやすい Q-POD

- タッチスクリーンにてスマートフォンのように分かりやすい操作

水銀フリー ech2o® UV ランプ



- 世界初*、超純水精製用、TOC 測定用の UV ランプが水銀フリー
- UV 波長が 172 nm になり、従来の水銀ランプと比較して、有機物分解効果が向上
- TOC 測定用の UV ランプもちろん水銀フリー

* 弊社調べ

効率性・使いやすさを追求した 2 種類の定量採水



① 定量採水

必要な量を設定して採水。小容量から大容量までどんな用途にも対応します。

② アシスト定量採水

設定量の 96% までは高スピードで採水。その後一滴ずつの採水モードに自動で移行。停止は手動で行うことで、標線ぴったりに採水できます。

メルク株式会社

ライフサイエンス ラボウォーター事業部
〒153-8927 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー 5F
製品の最新情報はこちら www.merckmillipore.jp/LW
On-Line: www.merckmillipore.jp/jpts
Tel: 03-4531-3939 Fax: 03-5434-4875



あたらしい
Milli-Q がでたよ

The life science business
of Merck operates as
MilliporeSigma in the
U.S. and Canada.

Milli-Q®

Lab Water Solutions